



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
TEL 093 - 592 - 5000 FAX 093 - 571 - 4346

北九州市民の会

検索

WEB : <http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail : koe@siminnokai.com



病院統廃合見直しー市議会が意見書を可決

6月17日に閉会した北九州市議会の最終日、日本共産党提案の「公立・公的病院統廃合計画の見直しを求める意見書」が賛成多数で可決しました。意見書には厚生労働省がすすめる424の公立・公的病院の再編・統合の見直しを政府に要請するものです。コロナ感染拡大の非常時でも公立・公的病院は極めて重要な役割を果たしており、その再編統合は許されないとしています。この意見書に賛成したのは、日本共産党(8人)、自民の会(9人)、ハートフル北九州(11人)、一人会派(3人)で57名中31人の賛成多数でした。北九州でも市内5カ所にあった市立病院は、2002年から11年にかけて戸畑病院、若松病院が民間譲渡、門司病院は指定管理者制度導入が行われ、19年には財政の赤字を理由に、市立医療センターと市立八幡病院を独立行政法人化病院機構とし、市議会を通じた市民の意思の反映が大きく制約されるものとなっています。このように北九州市の感染医療への体制が弱まってきたのは、効率化を理由に行財政改革をすすめてきた結果です。コロナ危機での公的病院の役割が重要視されています。「コロナ感染の影響で、利潤第一主義が見直されている」意見書の可決は、市民本位の保健医療体制の強化に取り組む第一歩にしていきましょう。なお、6月議会では、日本共産党北九州市議団は4件の意見書を提案しました。その内3件が全会派一致及び賛成多数で可決されました。可決された3件はコロナウイルス感染防止対策の関連する内容であり、他の会派も否決することができないものでした。(市議団事務局 小林)

が6月29日に届けられる。各区民の会では、赤旗しんぶんへの折込と、居住地域への投函を7月中に実施することを決めました。地域配布(投函)後、市民の会宛に返信していただいた署名入り封筒は、各区民の会にお渡しするなど、コロナ禍のもと高齢者福祉乗車券の実施を求める署名推進活動を決めました。次回の区民の会・市民の会交流会は、8月19日(水)10:00~12:00 戸畑生涯学習センター。



2020国民平和大行進 長崎から広島へ

(写真) 広島に向けて出発する国民平和大行進=28日、長崎市

2020年原水爆禁止国民平和大行進(長崎一広島コース)が28日、長崎市の爆心地公園から広島に向けてスタートしました。出発集会には約130人が参加。今年は行進コースの短縮など、コロナ感染拡大に配慮して取り組まれています。



里正善・現地実行委員長があいさつし、田上富久市長のメッセージが紹介されました。

「『ヒバクシャ国際署名』をすすめる長崎県民の会」の朝長万左男共同代表は昨年、この公園でローマ教皇が「核廃絶実現には一人ひとりの参加が必要」と強調し、核兵器国の指導者に向けて「あなた方が考えを変えて決断してください」とのメッセージを発信したことを紹介。行進者を激励しました。

被爆者(79)は、爆風で吹き飛ばされた瞬間を昨日のこのように覚えていると語り、「核兵器のない世界をつくる、その先頭に立てる政府にするため、私たち被爆者ともに頑張りたい」と話しました。

原爆が投下された午前11時2分に全員で黙とうし、市内中心部の鉄橋(てつばし)にむけ100人が出発しました。

初めて歩くという高教組の男性(33)は「以前から平和の問題に関わりたと思っていた。歩くことでみなさんに核廃絶をアピールできたら」と話しました。

(6.29 赤旗しんぶんより)

小倉南革新懇第10回総会 田村貴昭さんが国政報告

6月20日(土)、小倉南革新懇が第10回総会を開き、40名が参加しました。代表世話人の荒牧啓一弁護士が開会挨拶。来賓として、高瀬菜穂子県議、藤沢加代市議、うど浩一郎市議予定候補が挨拶しました。国政報告した田村貴昭さんは、コロナ禍のさなか憲法改悪に前のめりの安倍首相を批判し、憲法審査会への自民党の改憲案提示を5国会連続で阻止したと強調。次の総選挙で野党が多数を握って憲法が生きる政治をつくるため、粉骨砕身がんばっていくと決意を述べました。総会では、2020年度の活動方針案、予算案、役員人事案が討議され承認され、有馬和子世話人の元気な閉会挨拶で終わりました。



「2020平和のための戦争展」 第2回実行委員会 今年度の中止と来年度の方針を確認

6月25日(木)、コロナ禍のもと、上記実行委員会が開催され7名が参加。今年度の戦争展の中止は確認済みでしたが、実行委員会として正式に中止確認をしました。今年度中止の連絡を、今まで広告、カンパをしてくださった方々に手紙でお知らせすることを決定しました。現在必要な処置を進められ、早い段階で中止のお知らせが届けられます。来年度は、今年度準備してきた企画を生かすようにする方向で開催することを確認し、同会場の黒崎コムシティーを10月1日に申し込むことにしました。開催日の第1希望は、2021年8月21日(土)、22日(日)です。2021年度の開催日と場所が確定した後、新たな2021年実行委員会立ち上げの準備を進めていきます。

(戦争展事務局より)

コロナなんかに負けとられんけんね! 二つの裁判勝利に向けて元気に スタンディング宣伝行動を実施

2020年6月20日(土) 門司駅前「生活保護基準引き下げ違憲訴訟、年金引き下げ違憲訴訟を支援する会(いかんよ貧困・福岡)」北九州支部で宣伝行動をおこないました。当日は生活と健康を守る会・年金者組合・北九州市社保協から総勢21名が参加。コロナ禍の中、

署名・ビラ配布は自粛しスタンディング宣伝としました。

梅雨の晴れ間で汗ばむくらいの陽気の中、参加者は91歳の原告を筆頭に高齢者が中心でしたが、コロナを吹き飛ばす勢いで元気に宣伝行動を実施。二つの裁判の経過と行方、そしてこの裁判の意義と支援の訴えをおこないました。まだまだ人出はまばらでしたが、足を止めてポスターを覗き込む人や91歳の原告に声をかけ会話する人など一定の宣伝効果がありました。

生存権裁判、初の判決は・・・

この間、集団訴訟として全国で始まった2つの裁判もコロナの影響で中止・延期となっていました。生活保護基準引き下げ違憲訴訟については6月25日に名古屋で初の判決が言い渡されました。内容は原告の訴えを退ける不当なものでした。扶助基準の大幅削減は、2012年12月自民党が給付水準の10%引き下げを公約に盛り込



高齢者福祉乗車券の実施を求める署名を! 区民の会・市民の会交流会で 署名推進具体化

6月27日(土)、区民の会・市民の会交流会が開かれ、11名が参加し、高齢者福祉乗車券の実施を求める署名推進体制について検討、各区での取り組みを具体化しました。署名用紙、ビラ、募金訴え、返信封筒の印刷を終え、各区ごとに必要部数

み政権復帰を果たした安倍政権の公約実現に向けた意向が強く反映されもので、「物価下落や歪み調整」などデータを捏造・偽装し強行されました。福岡での生活保護基準引き下げ違憲訴訟の第19回弁論は7/13(月)13:30～、年金削減違憲訴訟の判決日も7/31(金)14:30～と日程が決まり、それぞれ福岡地裁で行われます。私たちの命と暮らしに直結する重要な裁判です。何としても福岡での訴訟は勝利を目指し、皆で励まし合い力を合わせ頑張りましょう!

(北九州社保協事務局 岡本さんより)

さよなら原発! 390回目の金曜行動

コロナウイルス感染症対策で、4月から2か月程度行動ができなかったさよなら原発金曜行動が7月3日から再開しました。参加は、連絡が十分できなくて20人の参加でしたが、久しぶりの行動で元気いっぱい最後まで頑張りました。高瀬県議や藤沢市会議員、北九州の歌声の仲間も参加し390回目の金曜行動を頑張りました。締めは、高瀬県議によるシュプレヒコール、「原発いらない」「電気は足りてる」「再稼働反対」など唱和しました。(堀田和夫氏FBより)



憲法改悪反対北九州共同センター 毎月定例宣伝行動を再開

7月4日(土)11時から小倉駅前広場で、憲法改悪反対北九州共同センターの毎月定例宣伝行動が再開しました。久しぶりの宣伝行動でしたので残念ながら参加は10人でした。少ない参加でしたがトークに署名の集約に頑張り18筆の署名を集約しました。



共同センター今後の取り組み

7月19日(日)は、旧「東映会館」前で、14時から平和ネット19日行動です。ご参加をお願いします。平和ネット19日行動は、7月19日が日曜日なので、14時から、小倉駅だけでなく他の繁華街での宣伝を一斉に行うことになりました。北九州憲法共同センター(略称「共同センター」と地区労連は、旧「東映会館」前交差点(ツルハドラッグストア前)で14時から行います。プラスターボードなどをもったスタンディングや、署名宣伝をします。1時間の行動です。小雨でも行いますので、ご協力ください。

その他の行動

8月9日(日)14時から、小倉駅前デッキで、宣伝行動です。(19日行動として行います。)この日は、長崎原爆投下の日で、路上原爆写真展も行います。

原水禁大会・長崎大会オンライン

また、8月9日10時30分～12時まで、原水禁世界大会長崎大会の会場からのオンライン放送があります。会場は、日本共産党門司小倉地区委員会2階をお借りして行います。主催：原水禁小倉地区実行委員会。(野瀬事務局長より)

日本共産党市議団がコロナ対策で申し入れ 「PCR検査など検査体制の抜本的強化」など61項目

7月7日、日本共産党市議団は、北橋市長と田島教育長に対して「PCR検査など検査体制の抜本的強化」「医療供給体制の支援」「暮らしと営業の補償」「少人数学級など教育条件の整備」などを中心に61項目の申し入れを行いました。これまでPCR検査は、濃厚接触者全員に広げる前進はあるものの、検査を必要とする市民全員を検査対象とした、更なる体制の抜本的強化が必要です。また、患者減少による医療機関の経営危機(3割～5割減少)への支援対策が急がれます。今回で市に対する申し入れは5回目となります。党市議団は市民の命と暮らしを守るために引き続き全力を上げていくとしています。



申し入れ全文は、日本共産党市議団ホームページをご覧ください。

F35を105機2.5兆円 米が売却承認 1機「236億円」

米務省は9日(現地時間)、F35ステルス戦闘機105機と関連機器の日本への売却を承認し、議会に通知しました。売却総額は推定約231億ドル(約2兆4800億円)。米国の武器輸出制度であるFMS(有償軍事援助)に基づく日本への武器売却額としては過去最大で、米国の売却実績としても、2010年、サウジアラビアにF15戦闘機84機など総額294億ドル(約3兆1500億円)相当を承認したのに次ぐ超巨額です。

売却されるのは、空軍仕様のF35A63機、短距離離陸・垂直着陸が可能な海兵隊仕様のF35B42機と予備エンジン110基、関連装備品など。日本政府はこれまで、機体価格を1機116億円と説明していましたが、関連機器を含めると1機あたり236億円に膨張します。

民主党政権時代にF35A42機の導入が決定されましたが、安倍晋三首相がトランプ米大統領の要求に応じ、105機の追加購入を決定。合計147機となり、将来にわたって財政に深刻な影響をおよぼします。

一方、韓国政府もF35Aを導入しますが、米国への支払いを先送りし、新型コロナウイルス対策に充てています。米海兵隊も導入機数の54機削減を検討。日本政府も見直しが迫られています。(7.11 赤旗しんぶんより)

第51回「八幡市民会館の存続を求める 連絡会」開かれる!

7月14日(火)、4ヵ月半ぶりに「八幡市民会館・連絡会」が開かれました。「再開・再会できて、うれしい」という思いを共有しての連絡会でした。10名の出席で、5000字からなる連絡会議案を熱心に討議しました。その結果、連絡会の課題を次のように整理して進めていくことになりました。

①すぐに取り組む課題:

市長あて署名「八幡市民会館を文化財に」を継続的にとりこんでいくこと。

八幡市民会館の文化価値を原点に立ち返り学び、広めていくための学習会を開催する9月12日(土)、14:00～八幡大谷市民センター(予定)

②その後に取り組む課題:

「請願権～実質審議を求める」「情報公開制度の改善」「公共施設マネジメントについて」

次回連絡会は、8月4日(火)、13時30分 八幡大谷市民センター。このとき、学習会について検討します。

「高齢者福祉乗車券」は大反響 幹事会8月18日(火)に決定

7月15日(水)、事務局会議では、「高齢者福祉乗車券」の実施を求める署名推進活動の状況を確認しました。市民の会事務所には、返信されてきた封書が、7区それぞれのBOXにたくさん取られています。事務局には、激励や質問の電話が毎日かかってきます。年金者組合からは、200部の署名用紙追加請求がありました。「1万2000円は少額すぎる」「請願署名ってなんじゃ」とかの市民の皆さんからの素朴な意見が、毎日かかってきています。ともかく、これまでにない反響です。

この日の事務局会議で、「市民の会幹事会」を以下の要領で開催することを決定しました。

8月18日(火)18:30 ムーブ大セミナー室

この日を、「高齢者福祉乗車券」請願署名の第2次集約日とします。各区は署名用紙原本を上部2か所○(穴)をあけ紐綴じして持参していただきます。幹事会では、各区より発言していただきますので、翌日開催予定していましたが区民の会・市民の会交流会(8月19日)は中止します。

幹事会では、年度の決算・予算案と活動方針案等が提案・審議されます。

尚、9月議会の請願署名最終受付日は9月24日(木)です。この日まで全力投球で署名を集めてください。幹事会を準備するための企画運営委員会は以下の要領で開きます。

7月28日(火)、18:30 小倉北生涯学習総合センター